



平成22年10月7日

各 位

上場会社名 株式会社 魚喜
 代表者 代表取締役社長 有吉 喜文
 (コード番号 2683)
 問合せ先責任者 経理部長 鈴木 英夫
 (TEL 0466-45-9282)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,745	35	21	1	0.08
今回発表予想(B)	7,513	△193	△201	△224	△17.61
増減額(B-A)	△231	△228	△222	△225	
増減率(%)	△3.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年2月期第2四半期)	7,590	△106	△121	△155	△12.18

修正の理由

当社グループを取巻く事業環境は、景気回復の兆しが一部で見られたものの、国民の所得水準や雇用など個人消費をとりまく環境は依然低迷しており、デフレ基調で推移しております。

水産小売業界の経営環境は、厳しい雇用環境や所得環境から先行き不安感を背景に消費者の生活防衛意識は依然として強く、低価格販売傾向にあります。また、今夏は、観測史上記録を更新するほどの猛暑により、魚介類の消費が大きく低迷しました。他方、乱獲による水産資源の枯渇や海洋気象の変化にともなう漁獲量の減少と世界的規模の需要の拡大とにより、ほぼ全ての魚種において仕入価格が上昇しました。この消費性向と仕入相場環境により、当業界の収益構造は極めて厳しいものとなりました。

かかる状況の下、平成23年2月期の第2四半期連結累計期間における業績は、不採算店を積極的に撤退させ、販売費及び一般管理費の削減を推進したものの(対前年同四半期比△70百万円、同増減率△2.2%)、低価格販売競争と魚価相場上昇の影響を受け、前回予想を下回る見込みです。

なお、通期の連結業績予想は平成22年4月15日の公表通りに推移すると予想しております。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上